

1 情勢報告

1 JA土佐くろしおミョウガ部会の「学びあう教えあう取り組み推進会」を開催しました。



「推進会」の様子

10月29日、JA土佐くろしおミョウガ部会の「学び教え合う取り組み推進会」を開催しました。

推進会では、篤農家と部会役員の14名が事業のねらいを再確認し、平成21年度の研究会活動における重点取り組み事項を共有しました。その後、産地技術の更なる向上を目指して研修を行いました。研修では、農業技術センターの研究者から「ハウスミョウガの低コスト安定多収生産技術の確立」についての研究成果を報告してもらいました。技術と経営の両方の視点から温度管理などの情報交換ができました。

振興センターは、JA・篤農家と連携してミョウガ部会の研究会活動を支援します。

JA土佐くろしおミョウガ部会の現地検討会を開催しました。



浦ノ内地区の検討会

JA土佐くろしおミョウガ部会の現地検討会を多ノ郷地区（10月20日）と浦ノ内地区（11月4日）・中氏地区（11月5日）の3地区で行い、参加者66名が初期管理について情報交換をしました。

JA営農課が篤農家の栽培管理を説明した後、振興センターからは温度管理やカーテン管理について説明しました。作付け時期が早く生育ステージの進んだ圃場で開催したことで参加農家にとって、これからの管理の参考となり、「温度管理はどうしているか。今後はどうするか」など篤農家の栽培管理への質問を介して技術交換ができました。

今後は、篤農家やJAと連携して他地区においても効果的に現地検討会を開催します。

生まれたばかりのユズ産地が2年目の出荷を行いました（11月4日～24日）。



出荷の風景

JA津野山ユズ部会では先月の目慣らし会の後、2年目の出荷時期を迎え、ユズの出荷受け込みを行いました。

本年度の出荷量目標は10tでしたが、ユズをお金にする関心の高まりからか、予想を上回る量で、最終的には19tを超す出荷がありました。

まだまだユズの取り扱いには不慣れなところもあり、出荷物の中には基準を満たしていない物が混入するなど、出荷しながらの勉強が続いています。

将来、出荷量が増え本格的な産地となる頃には、生産者同士が互いに注意しあい出荷先に信頼される産地となるよう、振興センターではユズ部会、関係機関が一体となり産地作りに取り組んでいきます。

4 経営再建農家（13戸）に対する栽培技術指導が進められています。



栽培技術指導の様子

「JA土佐くろしお農家支援会議」の栽培技術指導が、順次進められています。

これは技術指導を通じて経営再建農家の経営改善を行うもので、前もって行なった面談で明らかになった課題について、再確認し指導や助言をしていきます。実際に作物を栽培する圃場で行うことによって気づいていなかった課題を確認することもできます。

作物が生育中の圃場では、生育不良への対策などきめ細やかな栽培技術指導を行っています。また作付けが終了した圃場では、次作に向けた準備や手順、来作にむけての病害対策等、経営改善計画に盛り込むことを確認します。

今後は、収量実績を月別に確認しながら経営改善支援を引き続き行う計画で、振興センターが進捗管理を行い、経営改善支援の円滑な推進を図ります。

芳生野百石営農生産組合がショウガを出荷しました（11月5日）



ショウガ目慣らし会の様子

こうち型集落営農に取り組む芳生野百石営農生産組合は、本年度ショウガ10aを栽培し、約3.3t（来年度種苗を除いたもの）を出荷しました。

11月5日に行われた出荷目慣らし会で、今作の状況を説明し、生産者同士がお互いの生育状況を確認し合いました。また、JAから、販売の扱いや次年度の取り組みについて説明を受けました。

芳生野百石営農生産組合は、11月16日に役員会を開き、今年度の状況について組合全体で情報共有し、次年度の栽培品目について協議を行いました。農業振興センターからは、収支状況等を伝え、協議を支援しました。

次年度は、米ナス、アジサイ、水稻の作業受託と共に、ショウガを10a栽培していくことが決まり、圃場の確保などの取り組みが進んでいます。

農業振興センターでは、芳生野百石営農生産組合の活動を支援していきます。

2 今後の普及活動の動き

須崎農業振興センター農業改良普及課
（連絡先：0889-42-3255）

時期	タイトル	内容	備考
12月1～2日	集落営農先進事例調査(芳生野百石営農生産組合)	島根県の農事組合法人いなぎ他	
12月4日	大野見米の生産組織設立事前検討会	関係機関による大野見特別栽培米のブランド化のための組織化準備会	
12月4日	ハナニラ有望品目導入検討会	生産・販売実績、栽培上の課題及び今後の生産・出荷・販売への取り組みについて定着検討会構成員で協議	
12月11日	JA土佐くろしおミョウガ部会現地検討会	今後の栽培管理について	
12月17日	大野見地区ニラ現地検討会	今後の栽培管理について	
12月22日	JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会	関係機関との情報共有	